

シニアワークプログラム地域事業に関する調査（概要）

厚生労働省 政策統括官付政策評価官室 アフターサービス推進室

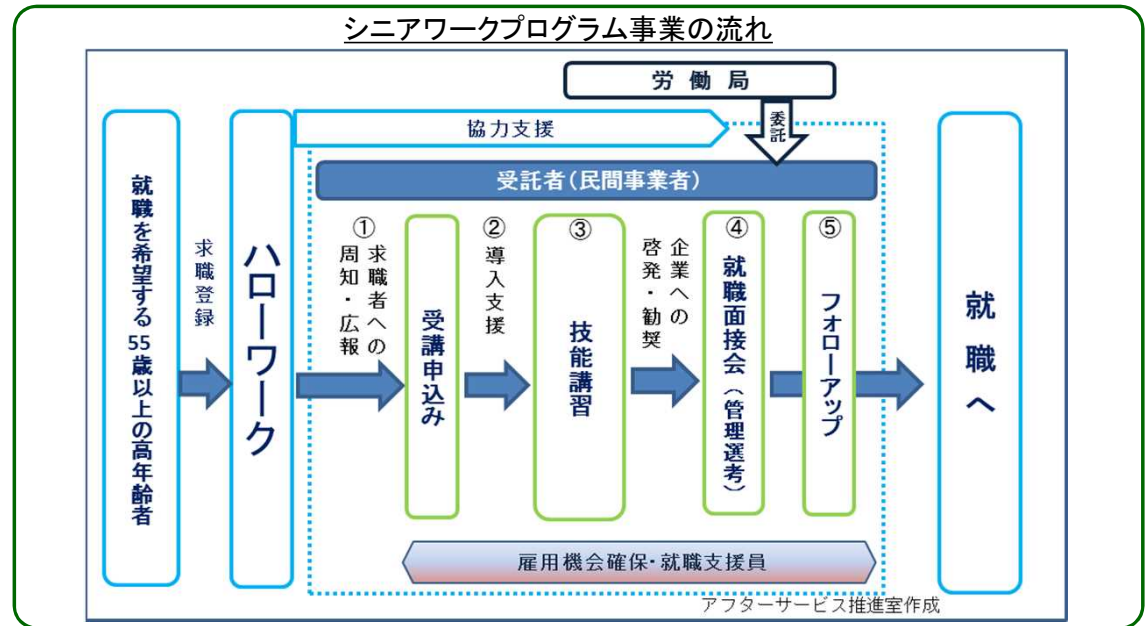
調査の目的

55歳以上の高年齢求職者の再就職や雇用の実現に向けた支援策である「シニアワークプログラム地域事業」がどのように取り組まれているかを調査し、同事業を実施する他の機関等への参考となるよう、好事例等を紹介することを目的とする。

調査の結果

各調査先とも、右図のように、①求職者への周知・広報、②導入支援、③技能講習、④就職面接会、⑤フォローアップの各ステップで、事業受託者は地域の实情に沿った工夫をしつつ、ハローワークと連携しながら事業を推進していた。

シニアワークプログラム事業の流れ



調査先における特徴的な取組（平成28年1月調査実施）

事業委託者	事業受託者	特徴的な取組事例
青森労働局	公益社団法人 青森県シルバー人材センター連合会	<ul style="list-style-type: none"> ・ハローワークの窓口や雇用保険の初回説明会等での講習参加勧奨 ・「除雪機」「刈払機」など、地域特性に合った技能講習の実施
埼玉労働局	公益財団法人 いきいき埼玉 埼玉県シルバー人材センター連合	<ul style="list-style-type: none"> ・首都圏で労働需給が逼迫している「警備業務」講習の集中的実施 ・就職面接会の前に面接の受け方等をアドバイス
岐阜労働局	公益社団法人 岐阜県シルバー人材センター連合会	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の求人ニーズが高い「医療事務基礎(フロア案内、事務補助等)」講習を新たに開講 ・企業ニーズをアンケート調査の上、高齢者雇用に意欲ある企業に本事業を紹介することで就職先を開拓
兵庫労働局	公益社団法人 兵庫県シルバー人材センター協会	<ul style="list-style-type: none"> ・業界団体を訪問し、傘下企業の面接会参加と講師派遣を要請 ・インバウンド増大に対応し、一流ホテルでの実習を取り入れた「ホテルスタッフ」講習を開講



合同面接会(岐阜)



ホテルスタッフ講習(兵庫)